

春日野

発行

いにしえの里「春日野」協議会

和仁地区推進員代表 小山 忠

第一回「いにしえの里春日野」座談会の発行にあたり、和仁地区推進員を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。

厳しい冬の寒さも和らぎ、やっと春の訪れを感じる頃となりました。和仁地区の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお察し申し上げます。

さて、和仁地区里づくり推進の取り組みにあたりましては、地区内の町議会議員様、区長様をはじめ、推進員の方々とパートナーとして地区民の皆様方のご理解とご支援のもと、昨年度一年間に亘り、種々検討を重ね、いよいよ具体的な取り組みに入る実働の時期を迎えることとなりました。

里づくりの基本方針として、「なごみ、やすらぎ、いよしの里、和仁」を里づくりのキャッチフレーズとして、下記に示しております。四つの部会を設け、それぞれ里づくり事業の重要機、緊急性を踏まえ、優先順位上位を平成十七年度の取り組みとして定めてみました。今年度の取り組みはあくまで整理をせず、実現可能な活動から進めてみようという推進会議で検討したものに過ぎません。

後、年を追うごとに和仁地区の生きたる道を求めて、住民参加の活動を展開できるようにしたいものと願う次第でございます。

少子高齢化が進む中で、老若男女が互いに助け合い共生していくか、そして、この自然豊かな環境と文化遺産を生かし、経済効果をいかにしてもたらすか、この二つが里づくりの究極の目標と思われまふ。

下記にご案内致しておりますように、いよいよ和仁地区里づくり協議会の設立総会を開催する運びとなりました。

どうぞ、趣意ご理解の上、和仁地区住民の皆様多数のご参加をお願いいたします。ご挨拶いたします。



春富小学校体育館

『おもさん館』落成式

三月十五日に春富小学校体育館の落成式が行われました。

式典には、池上町長をはじめ町関係者並びに地域の代表者、そして、この日を一番楽しみに待っていた春富小学校の児童が参列しました。

式典終了後は、大庭照子さんによる重謠コンサートが行われ、約二百人の地域の方々がおいでいただきました。建物には、地域の木材をふんだんに使用した造りとなっており、特に春富財産区より寄付いただいた正面玄関に使われている二つの大きな柱は目を引きまします。



『おもさん』って？

熊本井で「たくさん・いっぱい」という意味で、たくさんの人にご利用していただき地域の交流の場となるようにと願いを込めて『おもさん館』と名づけられました。

新しい体育館を

見に来ませんか？



体育館の落成式も終了しましたが「まだ、体育館を見たことがない」「一度は見たいけど」という方がたくさんおられると思います。そこで、学校にお願いして体育館を一日開放していただくこととしました。なお、当日は、和仁地区の里づくり協議会の設立総会を行い、ニュースポーツ体験コーナーや豚汁などを用意しておりますので、地域の交流の場である『おもさん館』に是非お出でください。

日時 四月二十四日 午後三時

和仁地区の里づくり協議会の名称 いにしえの里「春日野」に決定！！

なぜ里づくり協議会が必要なの？

里づくりは、「誰かが進めてくれる」というものではありません。

「自分達のある里づくり」とは自分達で「活気のある里づくり」

を目指して地域住民全員で充実した里づくりを進めていきましよう。

これからは、何をやるの？

和仁地区里づくり協議会のいにしえの里「春日野」は四つの部会を設け、四月二十四日に行われる設立総会において次の事業計画を提案します。

●産業観光部会
金栗マラソンの際
農産物販売

●環境部会
花いっぱい運動

●福祉文化部会
地域の財産である伝統の発掘

●広報部会
広報誌『春日野』の作成

協議会名称の由来

明治二十二年に東吉地村・中林村・西吉地村・和仁村・中和仁村・上和仁村の6ヶ村が合併して春富村となりました。この「春富」とは以前より和仁村の原野を春日の原といい、吉地村を富貴の里と言っていました。このため、いにしえの里「春日野」に決定しました。

